

# 2016 Women's Asian Champions Trophy (SINGAPORE)

大会名	2016 Women's Asian Champions Trophy	日付	2016/11/4
場所	SINGAPORE	天候	晴れ
試合	第4戦	通算結果	2勝1分1敗

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN	3	2 韓国 KOREA																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 10%;">1P</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">-</td> <td style="width: 10%;">0</td> </tr> <tr> <td>2P</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3P</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4P</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </table>			1P	1	-	0	2P	0	-	1	3P	1	-	1	4P	1	-	0
1P	1	-	0															
2P	0	-	1															
3P	1	-	1															
4P	1	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	錦織 えみ	
✓	3	浅井 悠由	
✓	4	藤井 美沙	
✓	5	阪口 真紀	C
16	6	内藤 夏紀	
✓	7	西村 綾加	
10	8	真野 由佳梨	
✓	9	永井 葉月	
✓	10	湯田 葉月	
9	11	野村 香奈	
✓	13	三橋 亜記	
✓	14	清水 美並	
5	15	永井 友理	
5	16	大塚 志穂	
✓	17	狐塚 美樹	
	18	要 理沙子	GK
5	19	平原 文音	
コーチ		長谷部謙二	
UMPIRE		KITITTEERASOPON Ornpimol (THA)	

Start	No.	Name	備考
	1	BAE So Ra	GK
6	2	PARK Mirim	
9	3	LEE Yeonok	
✓	4	SEO Jungeun	
6	5	PARK Miyeon	
✓	6	LEE Yurim	
✓	7	CHO Eunji	
✓	8	AN Hyoju	C
✓	10	CHO Yun Kyoung	
✓	13	CHEON Seul Ki	
✓	14	HONG Yoojin	
✓	16	HAN Mijin	GK
9	17	KIM Seoyeong	
✓	18	CHA Yesol	
✓	19	CHO Hyejin	
6	20	KIM Hyunji	
✓	22	PARK Kiju	
9	23	BAEK Eeseul	
監督		HONG, Kyung Suep	
UMPIRE		DAGAR Nirmla (IND)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	15	真野 由佳梨	PC	1-0
JPN	38	西村 綾加	PC	2-1
JPN	50	永井 友理	FG	3-2

Country	Min	Name	Action	Score
KOR	20	CHEON Seul Ki	PC	1-1
KOR	44	PARK Miyeon	PC	2-2

**1st Period**  
日本のセンターパスにより前半戦が開始される。序盤から激しい一進一退の攻防が続く。7分、韓国はPCを取得しドラックで得点を狙うが、#19平原が体で止め再びPCとなる。このピンチを#1GK景山が見事なセーブで得点を許さない。8分にもライト側を回り込まれるがDF陣が冷静に対処しピンチを凌ぐ。なかなかペースがつかめない日本は守備の時間帯が続く。12分、再びPCを奪われるが#1GK景山の好セーブで得点を与えない。15分、#8真野のシュートがPCとなる。日本は、#4藤井のドラックで攻めるが相手の体に当たり、再びPCとなる。何とか先制点を奪いたい日本は、中央より#3浅井がヒットでシュートする。これがGKに当たりこぼれたリバウンドボールを#8真野が押し込み先制する。

**2nd Period**  
韓国は自陣からスクープを多用し日本のプレスを回避する。16分、相手コートのFHを#10湯田から#15永井友に素早く渡る。レフト側からサークルインすると逆サイドで待つ#16大塚へ通すが僅かに合わない。20分、PCを奪われ、一度は#1景山が防ぐが、再び与えたPCを右下に決められ同点とされる。28分、日本はピンチを迎えるが得点を許さない。逆にカウンターから攻め込み#14清水がシュートしたボールを#17狐塚が拾いシュートしようとチャレンジするが相手DFに阻まれ追加点が奪えないまま前半戦が終了する。

**3rd Period**  
韓国のセンターパスにより後半戦が開始される。32分、レフト側からライトへ素早く展開し#8真野、#10湯田、#15永井友とパスが渡りシュートするがGKに止められる。さらに中盤で奪ったボールを#8真野がドリブルで突破しシュートするも枠を捉えることができない。38分、カウンターより攻め込み、#5阪口から#14清水へとパスが渡りシュート。GKがセーブしたボールがPCとなる。このチャンスに#4藤井からのボールを#7西村がタッチし2点目をあげる。44分、PCを奪われ、ゴール左隅に流されたボールをタッチされ再び同点とされる。

**4th Period**  
韓国はコート幅広く使いサイドから日本陣地に攻め込みセンタリングを多用する。日本は全体をコンパクトにして韓国の攻撃を凌いでいく。50分、レフト側サークルトップから素早く#10湯田がリスタートし、サークルに入る手前で#17狐塚へパス。このボールを受けた#17狐塚がベースラインを回り込み#15永井友へパス。このボールに#15永井友がスライディングしながら押し込み3点目をあげる。その後も一進一退の攻防が続くが、終了間際に日本が2本のシュートを放つもGKにセーブされる。トータル3-2で日本が勝点を獲得した。

日本は2勝1分1敗(勝点7)で予選を終えた。この結果により予選1位：中国(勝点9)、予選2位：インド(勝点7)、予選3位：日本(勝点7)、予選4位：韓国(勝点3)、予選5位：マレーシア(勝点3)となった。日本は得失点差で3位となり11月5日最終日は三位決定戦となった。

CAP数：西村綾加(100)

日本	3	PC数	6	
	10	シュート数	4	韓国